

この「ふるさとの湯」は麻釜（おがま）に行く途中の斜面に位置しており、非公式の 14 番目の外湯として数えられています（入場料が必要）。2011 年に建設されたこの伝統的な木造建築は、この小さな村の雰囲気や歴史と完璧に調和しています。この温泉は、源泉から自然に湧出した温泉水が常時流れ込む、源泉掛け流し温泉とみなされています。

他の外湯と比べて、この現代的な温泉施設はより広々としています。男湯、女湯のそれぞれに、露天風呂が 1 つ、そして熱湯（摂氏 44 度から 45 度）とぬる湯（摂氏 42 度から 43 度）から成る温度の異なる 2 つの内湯があります。石鹸、シャンプーなどの基本的なアメニティは備え付けられており、シャワーブースも利用可能です。